

本校の生徒が中日新聞名古屋本社でタイ・ボランティア研修に関する取材を受けました

令和 8 年 9 月 1 日 (火)

9 月 1 日 (火)、本年度のタイ・ボランティア研修 (8 月 6 日から 12 日まで実施) に参加した本校の高校 2 年生の水出詩乃さんが、名古屋市中区にある中日新聞名古屋本社で、研修に関する取材を受けました。

当日は、研修と一緒に参加した愛知大学の学生 2 名と共に参加しました。

研修に参加した動機や、研修でどのような活動をしたかなどの質問に対して、自分の体験に基づいてしっかり回答していました。

具体的には、山岳少数民族の子ども達が一緒に生活しているカサロンの家で子ども達と一緒に遊んだことや、最初なじんでくれなかった子ども達が、言葉が通じなくても身振りや手振りを交えて一緒に遊ぶことで、最後には子ども達から遊びに誘ってくれたことなどを、当時は思い出しながら楽しそうに語りました。

バンコク最大のスラム街で行った支援物資の配給体験については、配給した方達の生活環境や健康状態があまりに過酷で、かける言葉を失ったことや、今後こうした社会問題を解決するために、自分に何ができるか真剣に考えるきっかけになったことなどを、大学生と共に落ち着いて答えていました。

最後に本年度の 10 月には、カサロンの家の子ども達が本校を訪問する予定であることを伝えて、取材を終えました。

津島高等学校・附属中学校では、今後もタイ・ボランティア研修など他校ではできない「本物の」体験を生徒達に積極的に取り組ませてまいります。さらに今回のメディアへの対応など、自分の体験を他の人へ還元し、さらに自分自身の成長につなげていけるような取組もすすめてまいります。

中日新聞本社ロビーにて→

左から 横川さん (愛大生)、水出さん、市古さん (愛大生)

右から 取材に同行された愛知大学職員の岩田様、二瓶様



愛知県立津島高等学校 全日教頭 金澤 学